

監督者会議資料

第69回日本泳法大会に参加する方（競技選手・資格審査受査者）及び付添、観覧者は、下記注意事項について遵守してください。

場内の履き物について

2Fロビー、通路、観覧席、1Fの更衣室前の通路は土足可です。更衣室から先（プールサイド）は素足のみです。

場内に設置する換気扇でのケガの注意

★熱中症対策のために場内に扇風機を設置します。

大きい装置もあります。すべての換気扇に防護策を施すことはできません。子どもが触れてケガをしないように保護者もしくはそれに代わる方は注意してください。

こまめな水分補給をしてください。

応援の際の注意

★声を出して応援をする際には、マスクの着用を推奨します。ただし、以前から自チームの選手に有利になるような応援方法は禁止しています。そのマナーを引き続き守ったうえで、応援をしてください。

【好ましくない応援方法の例】

- ・特に支重競技において競技中に「がんばれ！」など、声をかける…声をかける応援者がいる選手といない選手の間で、不公平が生じます
- ・特に支重競技において経過時間伝達と誤解を生じかねない声かけ
- ・演技前、演技中、判定中に他の選手や審判に対して影響を及ぼすような行為
- ・アリーナ内の選手同士による応援

★演技等が終了した際には、賞賛、激励していただけて結構です

その他

★大会期間中の販売物はプログラム（1000円・税込）のみです。

資料、水干、速報等の販売は行いません（購入の問合せは受付で承ります）。

★忘れ物については、大会総務が保管しますので、プールではなく、大会総務にご連絡ください。

★大会期間中の競技結果などは、すでに周知のとおり Web 掲示版に掲載します。

★観覧席の指定はありません。北側（バックスタンド側）の観覧席のほうが、比較的、体感気温が和らぐようです。

★どなたでも涼んでいただける部屋として1Fの更衣室の向かい側の部屋を開放します。"参加者休憩室"と掲示します。室内での食事はご遠慮ください。飲料は飲んで頂いてもかまいません。荷物、ゴミを放置しないでください。発見次第、予告なく撤去します。

1. 水着等に関する規定

＜商業ロゴマーク等＞（末尾に参考資料があります）

- ・大会に出場する選手、資格審査受査者は「宣伝・広告の媒体について（2023年4月1日公益財団法人日本水泳連盟）」に違反しない水泳用品・用具を使用して下さい（30cm超の商標等の表示された

水着は使用禁止)。

- ・違反した水泳用品・用具を使用した場合、競技失格となります。
- ただし、本大会では以下の例外を認めます。
- ・世界水泳連盟 (World Aquatics : 旧 F I N A) F I N A 承認マークのない水着での参加が可能です。
 - ・素材に関する制限はありません。

2. 大会会場における撮影時の注意とお願い

- (1) プールサイドにおける撮影は禁止です。(取材許可者、本部広報員は除く)
表彰、開会式、閉会式の撮影は、観覧席からのみとします。
- (2) 写真・ビデオ撮影者は全員撮影許可証を着用してください。許可証未着用者が写真・ビデオ撮影していた場合、即座に退場していただきます。
- (3) 撮影者用許可証は、大会当日申請した団体(個人)に受付時にお渡しします。
- (4) 撮影許可証はそのままお持ち帰りください。

◆下記事項のご了承をお願いします◆

＜審判研修会用ビデオ・広報用写真の撮影＞

当委員会が主催する「審判研修会」等で使用する映像資料として、全競技種目をプールサイドにおいて撮影します。また、「日本泳法普及用広報資料」として、取材許可証を着用した広報係役員が各競技種目・資格審査を撮影します。出場者・監督・各団体管理者の皆様には予めご了承ください。

＜個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて＞

配布及び大会会場掲出文書『公式競技会及び公認競技会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて(2023年4月1日 公益財団法人日本水泳連盟)』の内容について出場者及びご関係者の皆様にご周知いただくとともに御了承をいただけますようお願い致します。

3. 表彰の仕方

- (1) 各競技1位～3位までを対象に表彰台に登壇していただきます。登壇者には贈呈品(トロフィー、楯、メダル)をお渡しします。贈呈品をお渡しした後、記念撮影をいたします。チーム関係者の皆様は、観覧席から撮影をしてください。〔2(1)、5(2)参照〕。
- (2) 「賞」「記録証」は、各表彰式の後、お渡しします。

4. 各競技・資格審査等の進め方、注意点等

(A) 泳法競技ジュニアクラス

- (1) 年少者(小学校4・5年生目処)については、保護者・指導者等が付添者としてプールサイドへ同伴可能です。
- (2) 賞状に加えて上位者には別途記録証をお渡しします。また、小学生の上位者については、これとは別に小学生の中での上位記録証をお渡しします。
- (3) 演技の開始・終了は主任のホイッスルの合図に従ってください。旗による合図も行います。

(B) 泳法競技

- (1) 若手泳者のモチベーションアップを目的として、18才以下の決勝進出者の順位をもとに「記録証」の授与を行います。該当者を掲示にて発表しますので、表彰式にご参加ください。
- (2) 泳法競技予選に於いて「立体」の際には泳形の通告を省略します。
- (3) 大会運営上、泳者の所属団体名について略称の使用、一部通告を省略することがあります。
- (4) 演技の開始・終了は主任のホイッスルの合図に従ってください。
- (5) <運営変更> 演技開始及び終了の旗合図は横体のみ行います。

(C) 団体泳法競技シニアクラス

- (1) オーダー表の提出期限 大会 1 日目 8 / 24 (土) 15 時まで。
提出先…記録室
試合番号(①から⑤まで)のすべてのオーダー表を一度に提出してください。

(D) 団体泳法競技

- (1) 試合番号①～⑬のオーダー表
 - ・提出期限…8 / 24 (土) 15 時まで。
 - 提出先…記録室
- (2) 「決勝：試合番号⑮」または「3 位決定戦：試合番号⑭」のオーダー表
 - ・提出期限…8 / 25 (日) 準決勝終了後、直ちに提出。
 - 提出先…記録室

※オーダー表記入の注意

- ・エクセルファイルを提供しますので、できるだけエクセルファイルで作成、印刷したものを
ご持参ください。
- ・手書きによる場合、お名前の「ヨミカナ」を読みやすい字でお書きください。

<重要> ※以下(3)～(5)は団体泳法競技・団体泳法競技シニアクラス共通

- (3) 「立体」泳者は主任の演技開始のホイッスルとともに演技を開始できるようご準備ください。
主任の演技終了のホイッスルまで演技を継続し、終了後は速やかに退水願います。
対戦相手が「立体」泳者の場合、「平体」「横体」泳者は、出発・終了合図をよく確認してください。
- (4) 勝ち上がりチームの再度の招集は行いませんので、アリーナ内にて待機願います(当日、招集係
の指示に従ってください)。演技開始できない場合、棄権(不戦敗)となります。トーナメント表
の仕組みをよくご理解ください。
- (5) オーダー表の提出
 - ① オーダーは競技規則に従って横体、立体、平体の全てを含むようにしてください。(オーダー
用紙で確認できるようになっています) また種目は異なる種目を遊がなければなりません。
提出前に、自チームで確認してください。
 - ② 記録室提出時、記録係に、記載内容の確認を受けてください。
 - ③ 提出期限迄に提出がないチームは棄権(不戦敗)となります。
 - ④ オーダー表の提出督促のアナウンスは行いませんのでご注意ください。

(E) 横泳ぎ競泳・支重競技

- (1) 競技規則の横泳ぎ競泳の泳法に関する規定、支重競技における重量物を落下させた場合の規定に
ご注意ください。
- (2) 横泳ぎ競泳・支重競技の応援は観客席からとし、アリーナ内(プールサイド)での応援は禁止し
ます。アリーナ内で応援した場合、応援対象となった選手を失格とすることがあります。
- (3) 支重競技の際、応援者が選手に対し経過時間を伝えることは禁止します。
- (4) 横泳ぎ競泳はタイム決勝方式にて行います。
- (5) 横泳ぎ競泳のレーン順は、事前に提出された申告タイム等を参考に決めてあります。
- (6) 支重競技の審判方法は、主審及び副審の複数にて水没、移動等の判定を行います。
- (7) 支重競技の競技進行は男女1カ所ずつで行い、各所1名ずつ競技を行います。

(F) 資格審査

- (1) 資格審査受査者は予め自分の演技開始位置(右から、もしくは、左から)をご確認ください。
- (2) 全ての資格の合格発表は、大会2日目のお昼前後にアリーナ内通告と、Web 公開、受付付近での
掲示により行います。

- (3) 資格審査合格者による「式泳」は行いません。
- (4) 全ての資格の合格者の「資格登録料」払込手続き方法等は、合格者に対し、合格発表後に文書にて交付します。大会会場では登録料払込手続きを行いません。交付した文書に従って後日払込をしてください。

(G) 永年出場者表彰

大会2日目に表彰いたします。該当者の方は表彰式にご集合ください。

(H) アップスイムに関する指定

- ・50Mプール、飛び込みプールのアップに関する利用方法は別紙をご参照ください。
- ・アップスイム開始可能時刻 1日目 9:00 2日目 8:00

5. 役員の方の入場退場・休憩場所・プールサイド（アリーナ）での待機について

- (1) 大会期間中の入場口は1階・駐車場西側にある自動販売機側の入口を利用してください。
- (2) プールサイドにて立ち見されることはお慎みください。観覧席から泳者が見えにくくなっています。また、競技役員もプールサイドでの撮影は禁止です（ご本人の写真等も含む）。
- (3) ご休憩は、①競技役員は「役員控室」 ②資格審査専門委員は「役員控室または資格審査室」にてさせていただきます。

6. 水泳場利用上の注意 ※添付 図面をご参照ください

- (1) 出場者、観覧者等は、全て2階エントランスをご利用ください。観覧席へは2階から直接進めません。
- (2) 開場時間は1日目9:00、2日目7:30となります。
- (3) 観覧席は落下防止のため最前列を使用しないでください。
- (4) 観覧席の荷物はチーム単位で管理願います。盗難対策は必ずチーム単位で実施してください。大会会場において貴重品等の紛失・盗難があった場合、大会運営本部では責任を負いません。
- (5) 観覧席と更衣室もしくはプールサイドへの通路は、別紙図面をご参照ください。
- (6) プールサイドは素足です。役員は定められた服装との組み合わせで役員用シューズ等の着用可です。
- (7) プールサイドは原則全面アリーナ指定と致します。
- (8) 更衣室のロッカーは、施錠方式で1回100円ノーリターンです。翌日までの施錠はできません。1日目閉場時に残置された荷物は撤去処分します。
- (9) 手荷物・飲料水等は必ず袋などに入れ、ひとまとめにして持ち込んでください。
- (10) 招集所はメインスタンド下、中央付近の招集スペースに設置します。
- (11) 各チームの旗を掲示する場合は、原則ひもを使用し、テープは養生テープのみ使用可とします（紙製ガムテープは使用禁止）。
- (12) プールサイドへの飲料持ち込みは水やスポーツドリンクのみ・ペットボトル入りのみ認めます。
- (13) 観覧席での飲食は引き続き黙食をするようにして、できるだけ他人と向き合わないように座ってください。
- (14) 喫煙は喫煙場所のみ可能です（屋外の指定場所）。
- (15) 本部室、資格審査室、記録室、医務室、参加者休憩室等の位置は、図面をご参照ください。
- (16) 隣接する東区スポーツセンタープールへの入場禁止、1Fエントランスロビーでの滞在は禁止します。

7. 弁当について

- ・参加者等の弁当の用意はありません。配達等で飲食物を受け取る場合は、必ずプールの建物外で行ってください。

8. 棄権の取り扱い

- (1) 現時点で判明した棄権者（大会不参加者）については、本会議においてお申し出ください。
- (2) 当日の棄権は、招集所でお申し出ください。
- (3) 各競技の招集は、別紙のとおりです。招集時刻に不在の場合、棄権（欠席不参加）と致します。
- (4) 団体泳法競技・同シニアクラスのオーダー表提出期限に遅れた場合、また、競技開始時に出泳者が出発位置に居ない場合は棄権（不戦敗）と致します。

9. 会場の場所取りと観覧フリー席

- (1) 多数の方々に気持ち良くご観覧いただくために、中央付近に「観覧フリー席」を設定致します。
- (2) 「観覧フリー席」では、荷物を置いて場所をとることやご本人以外の座席取りは禁止です。お互いに譲り合って競技や資格審査をご覧ください。
- (3) 団体等で荷物を置く場合は、観覧フリー席以外の場所で必要最小限のスペースをご利用ください。（シート等で座席を大範囲に確保することはお止めください。）
- (4) 開場時に場所取りのため走ることは大変危険ですのでお止めください。

10. プログラム修正

- (1) 大会プログラム記載事項の訂正・修正受付は、記録室にて記録係が行います。
- (2) 大会プログラムの訂正に関しては、個々のお申し出と受付申込原簿との照合を行います。
- (3) その他の修正（流派記述・物故者連絡等）に関しては、各流派・団体責任者からのお申し出、または各流派・団体責任者名を明記した書面によるお申し出を記録係で受け付けます。

11. 競技役員各係の打合せ

別途、係員に連絡いたします。

12. 大会当日の気象状況による開催可否決定について

★施設所在区域への避難情報発令時には、施設の利用を中止、閉館します。

（ひろしんビッグウェーブホームページ・施設からのお知らせ 2019年7月1日）



その際の連絡方法

①大会本部から「第69回日本泳法大会周知ブログ」に当日の開催状況を掲示します。

（午前7時掲載目安、ただし、最新の情報次第、随時更新をします）

②大会総務への電話連絡による確認

090-4024-8980 080-3010-8980

（ただし、混み合う際には通話ができにくいことをご理解ください。メールによる返信は一切いたしません。電話による問合せは各団体（参加単位）から1本とすることをご協力をお願いします）

本件について、施設に直接問合せすることは禁止します。

13. 大規模災害発生時の行政（広島市）対応について（参考情報）

①宿泊施設滞在時等

情報収集方法として広島市のホームページ等の利用

[ひろしま避難誘導アプリ「避難所へGo!」を運用しています・広島市公式ホームページ | 国際平和文化都市 \(hiroshima.lg.jp\)](http://hiroshima.lg.jp)



②大会運営時

水泳場及び大会総務から発せられる指示に従い落ち着いて行動してください。

以上

【水着の規定に関する参考資料】

I 宣伝・広告の媒体について

1 持ち物についていてもよいもの

- (1) 自分の氏名、エントリーした所属（チーム・学校・クラブ等）の名称・マーク。
- (2) オリンピック大会や世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク。
- (3) 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク。
- (4) 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。
- (5) 水着・ウェア等のメーカーのロゴマーク。
- (6) 事前承認を得たスポンサーのロゴマーク。

2 それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。

ロゴマークの種類／用途	水着についてよい大きさと数	ウェアについてよい大きさと数	その他のものについてよい大きさと数
上記の（１）～（４）	競泳は50cm ² 以内で1カ所。 競泳以外の競技は大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。
メーカーのロゴマーク	メーカーロゴまたはマークは30cm ² 以内で1カ所。（注1）	メーカーロゴは40cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。	メーカーロゴは20cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。
事前承認を得たスポンサーのロゴマーク	30cm ² 以内で1カ所。	40cm ² 以内で1カ所。	20cm ² 以内で1カ所。

注1 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ下部に1つが許される。ただし、これらのロゴマークは相互に隣接して置くことはできない。

II 国内競技会での競泳水着の取り扱いについて

本連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）の競泳競技において、着用できる水着は下記の通りです。

- 1 世界水泳連盟（World Aquatics：旧 F I N A）の公認した水着を着用すること。※規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技会において参考記録扱いとなり、決勝への出場および全国大会や国際大会の標準突破記録として認められず、本連盟のランキングにも反映されません。
- 2 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止します。
- 3 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止します。※水着の重ね着、水着へのテーピングおよび2次加工の規定に違反した場合は失格となります。